

<フレームワーク>

群馬銀行グループ

グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンド フレームワーク for “Purpose”

1. はじめに

(1) 発行体概要

群馬銀行（本店所在地：群馬県前橋市）は1932年に群馬大同銀行として創立、1955年に現在の行名である群馬銀行に改称しました。群馬県を主要な営業基盤とする地域金融機関として、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスを提供しています。群馬銀行は企業理念に「地域社会の発展を常に考え行動すること これが私たちの事業です」と掲げております。この理念に沿う形で2019年2月に制定した「群馬銀行グループSDG s 宣言」に基づき、事業活動を通じた社会・環境課題等への取組みを更に強化し、地域全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

(2) 群馬銀行グループ「パーパス」

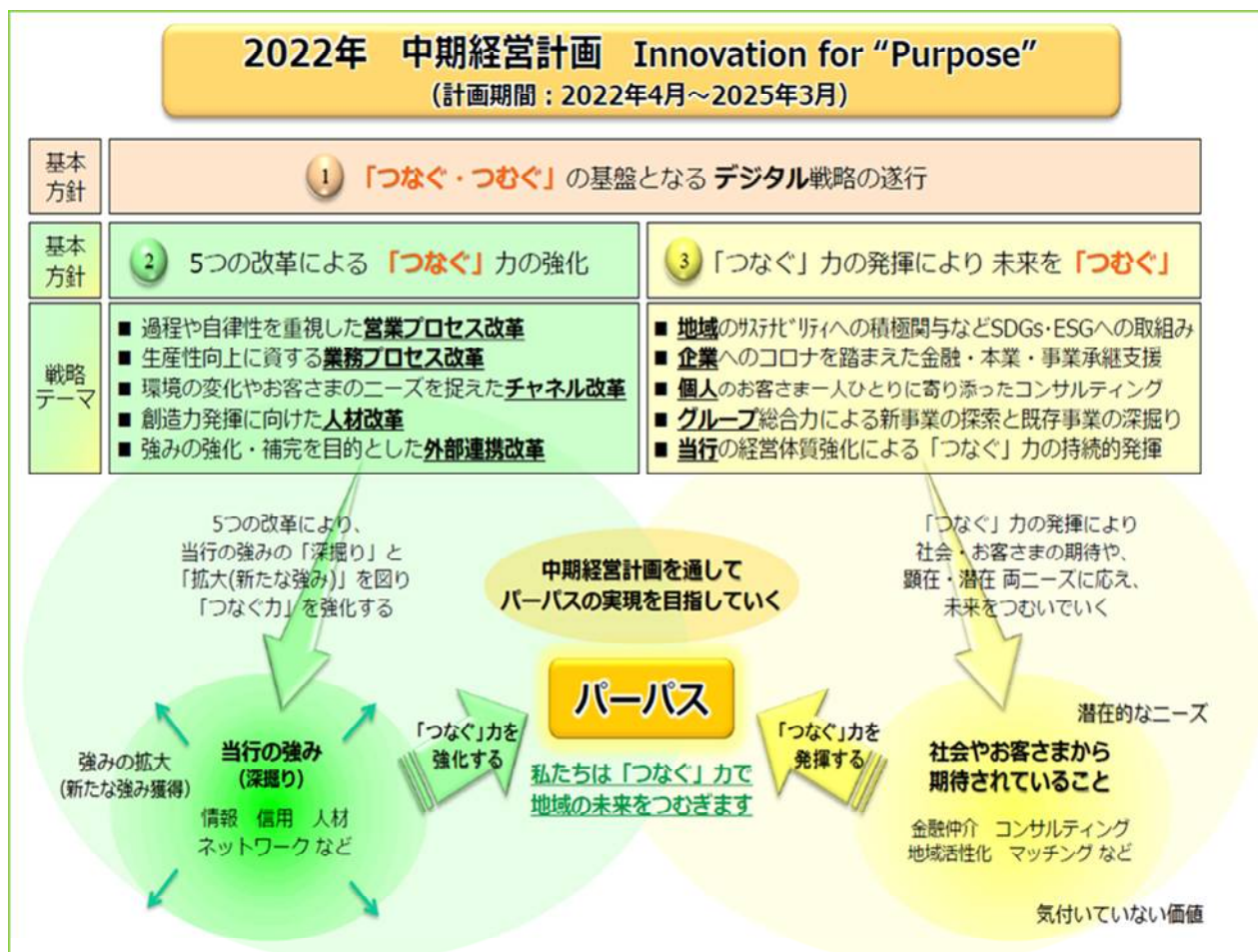
多くの社会・環境課題に対して、私たち群馬銀行グループが社会において何のために存在し、社会の未来に向けてどのような働きかけができるのか。その思いをもとに、私たちの存在意義を改めて見つめ直し、2021年11月に『私たちは「つなぐ」力で 地域の未来をつむぎます』を群馬銀行グループのパーパスとして定め、企業理念と並ぶ最重要概念と位置付けました。

(3) 2022 年中期経営計画「Innovation for “Purpose”」

2022年3月に公表した中期経営計画「Innovation for “Purpose”（計画期間：2022年4月～2025年3月）」は、パーパスの実現に向けて、フォアキャスト（今を起点に3年間で何を深堀すべきか）とバックキャスト

ング（パーパスに基づくめざす未来から何をすべきか）の両面から策定し、お客さまのニーズベース・ゴールベースの営業活動を重視しています。

本計画では、3つの基本方針として、①「つなぐ・つむぐ」の基盤となるデジタル戦略の遂行、② 5つの改革による「つなぐ」力の強化、③「つなぐ」力の発揮により未来を「つむぐ」を掲げました。



この3つの基本方針のもとで、パーパスに基づき地域社会やお客さまの課題解決（社会的価値）に積極的に取り組み、その結果として当行が持続的な収益を上げていくことで（経済的価値）、社会的価値と経済的価値の両立を目指します。その両方に資する3年間の計数目標として「つなぐ KPI」を設定しております。

| つなぐKPI | 項目 | 目標 | 補足説明 |
|---------------------|-------------------------|-----------|--------------------------|
| 貸し手と借り手を「つなぐ」 | サステナブルファイナンス実行額（3年間累計） | 5,000億円 | 環境・社会課題解決を資金使途とする投融資実行額 |
| | 住宅ローン実行額（3年間累計） | 4,000億円 | 住宅ローンの実行額 |
| | 無担保消費者ローン残高（2025/3月末時点） | 750億円 | マイカーローンなど無担保消費者ローン貸出残高 |
| お客さまを「つなぐ」 | ビジネスマッチング成約件数（3年間累積） | 3,000件 | 当行グループ会社間のマッチングは除く |
| 企業と人を「つなぐ」 | 人材紹介成約件数（3年間累積） | 200件 | 「片手型」または「両手型」で成約になった件数 |
| お客さまの未来に資産を「つなぐ」 | 預かり金融資産残高（2025/3月末連結） | 1兆2,500億円 | ぐんぎん証券を含む |
| | うち投資信託残高（2025/3月末連結） | 4,000億円 | ぐんぎん証券を含む |
| 次世代へ「つなぐ」 | 事業承継課題解決件数（3年間累積） | 600件 | 事業承継に資する課題解決により収益化した案件数 |
| | 相続関連業務成約件数（3年間累積） | 1,000件 | 遺言信託・遺産整理業務の成約件数 |
| パーパスに基づく営業活動による主要計数 | 貸出金利益（2025/3期） | 545億円 | 貸出金利息 - 調達コスト |
| | 法人役務収入（2025/3期・連結） | 65億円 | 法人向けサービスの手数料収入合計額 |
| | 預かり金融資産等収入（2025/3期・連結） | 90億円 | 預かり金融資産手数料（証券含む）+ 相続関連収入 |

この「つなぐ KPI」を計数目標とした事業活動を通じて社会・環境課題等への取組みを更に強化することで、持続可能な社会の実現に努めています。「つなぐ KPI」達成に向け、ニーズベースやゴールベースの営業活動を展開し、お客さまの脱炭素化に資する取組み支援や地域との連携強化等に取り組んでいきます。

パーパス実現のため、群馬銀行グループが有する様々な経営資源とお客さまとを「つなぐ」ことで、地域のお客さまにも広くSDGsの啓蒙・普及を図るとともに、お客さまのSDGs達成に向けた取組みを群馬銀行グループ一丸となってご支援することにより、地域全体で持続可能な社会の実現を目指して参ります。

(4) 新フレームワーク策定の意義

群馬銀行は、他の地方銀行に先駆けて2019年11月にはグリーンボンドを、2021年10月にはサステナビリティボンドを発行し、調達した資金をCO₂削減に寄与する事業や雇用の創出・災害からの復興に寄与する事業への投融資に充当することで、グループ全体で社会・環境課題の解決に積極的に貢献して参りました。

私たち群馬銀行グループは、お金（金融）だけではなく、地域・企業・人々を「つなぐ」ことや、私たちが持つサービスや情報などの資源を地域・企業・人々に「つなぐ」ことを通じて、さまざまな価値と価値をつないだり、新たな価値を生み出したりすることを、社会から期待されていると考えています。

「パーパス」に込めたこの思いを、「つなぐ KPI」として、中期経営計画「Innovation for “Purpose”」の具体的な計数目標としております。今回のフレームワークは、こうした背景のもと、2021年度に公表したフレームワークを更に発展させ、新フレームワークとして策定したものととなります。

本フレームワークに基づき発行されるグリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドは、お客さまのSDGsに資する取組み等に必要な資金を調達するものです。群馬銀行グループのめざす未来「地域社会と群馬銀行グループの持続的な発展」を「つむいで（紡いで）」いくため、本フレームワークのプロジェクトへの投融資を積極的に進めて参ります。

2. 調達資金の使途

群馬銀行は、グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの発行によって調達した資金を、以下の適格グリーン/ソーシャルプロジェクトに係る新規および既存の投融資^(※1)または新規の支出^(※2)に充当します。

(※1) ぐんま地域共創パートナーズ株式会社のファンドを通じた出資等を含む。

(※2) ぐんぎんリース株式会社が行うリース事業に関連する支出を含む。

既存の投融資の場合、該当するグリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの発行日から遡って3年以内に合意された投融資および事業開始が決定された事業を対象とします。

【 適格グリーンプロジェクト 】



a. エネルギー効率<つなぐ KPI : サステナブルファイナンス>

LED 照明や空調設備の更新、建築物の改修等、エネルギー効率の向上に資する設備導入・改修向けの投融資および支出。以下のカテゴリ「c.グリーンビルディング」に該当する投融資および支出は、カテゴリ「a.エネルギー効率」から除外

b. クリーンな輸送<つなぐ KPI : サステナブルファイナンス>

以下の事業または取組みを含む、電気自動車（EV）および燃料電池自動車（FCV）並びにそれを支えるインフラの購入・維持のための投融資および支出

- i. 群馬銀行で実施する投融資
- ii. 群馬銀行グループのぐんぎんリース株式会社における自動車リース事業
- iii. その他グループ会社において取り組む社用車のエコカー導入の推進

c. グリーンビルディング〈つなぐ KPI : サステナブルファイナンス/住宅ローン〉

国内において認知されたグリーンビルディングの第三者認証を取得済みまたは取得予定、もしくは以下の基準相当を満たす建築物の建設、購入または修繕のための投融資および支出

- i. CASBEE : S、A
- ii. DBJ Green Building 認証 : 5つ星、4つ星
- iii. BELS : 5つ星、4つ星
- iv. ZEH 住宅および ZEH-M 住宅 (LCCM 住宅を含む)
- v. 長期優良住宅 (2022年10月の認定基準改正以降の認定)

d. 再生可能エネルギー〈つなぐ KPI : サステナブルファイナンス〉

対象発電設備の資産の賃貸、取得、建設、運転、施設拡張を含む、当該発電事業向け投融資および支出

- i. 太陽光発電事業
- ii. バイオマス発電事業
※ただし、廃棄物由来のバイオマス資源である発電事業に限定する
- iii. 水力発電事業
※ただし、発電容量が 25MW 未満の発電事業に限定する
- iv. 風力発電事業
- v. 地熱発電事業
※ただし、CO₂ 排出量が 100g CO₂ /kWh 以下である発電事業に限定する
- vi. その他
※グリーンプロジェクトとして認められる発電事業に限定する

【 適格ソーシャルプロジェクト 】



a. 雇用の維持・創出〈つなぐ KPI : サステナブルファイナンス〉

感染症流行等による社会経済的影響の軽減、感染症拡大防止・予防等に資する投融資

- i. 感染症の影響を受けたお客さまへの投融資
- ii. その他、感染症拡大防止等の感染症流行に対応する投融資

b. 地域経済の再生・持続支援〈つなぐ KPI : 事業承継課題/相続関連業務、サステナブルファイナンス〉

事業承継支援等の地域経済の再生・持続や、地方創生に資する投融資

c. 災害からの復興・復旧支援〈つなぐ KPI : サステナブルファイナンス〉

震災や台風・豪雨等の災害による社会経済的被害からの復興、復旧に資する投融資

- i. 震災時元本免除特約付き融資
- ii. 豪雨災害時元本免除特約付き融資
- iii. その他、災害による社会経済的被害からの復興、復旧に対応する投融資

d. 医療、福祉サービス支援〈つなぐ KPI : サステナブルファイナンス〉

地域医療サービスの充実に資する医療関連投融資や、障がい者支援・高齢化社会対応に係る福祉関連投融資

- i. 病院等の医療施設の建設、設備投資のための投融資（開業支援のための投融資を含む）
- ii. 福祉施設（障がい者施設、サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム、グループホーム等）の建設、運営のための投融資

【 除外プロジェクト 】

環境、社会的リスク低減の観点から、化石燃料、武器に関連する事業に携わる企業への投融資は適格グリーン/ソーシャルプロジェクトから除外します。

3. 評価・選定プロセス

プロジェクトの選定における適格プロジェクトの適用

適格プロジェクトの設定は、グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの発行を起案する総合企画部経営管理室（以下「経営管理室」）が行いました。また、適格プロジェクトと群馬銀行グループ SDG s 宣言で掲げる重点課題と取組方針との整合性および中期経営計画「Innovation for “Purpose”」における「つなぐ KPI」との整合性については、経営管理室と総合企画部 SDG s & ESG 統括室が協議の上、確認しました。適格プロジェクトの選定にあたっては、審査部が融資審査を実施の上、経営管理室がプロジェクトの適格性を確認します。

群馬銀行グループ SDG s 宣言

地域社会の発展を常に考えた事業活動の推進を通じて、SDG s (持続可能な開発目標)の達成に貢献し、持続可能な社会の実現と経済的価値の創造に努めていくため、以下の4つの重点課題と取組方針を策定しております。

- 1) 地域経済の持続的発展
 - 地域の事業者の皆さまの成長支援や、地域活性化に向けた取組みを充実させるとともに、お客さまの多様なニーズに応じた金融サービスの提供により、地域経済の持続的な発展をサポートします。
 - 次世代の担い手を育成するため、地域の皆さまの金融リテラシー向上に向けた金融経済教育の充実や、持続可能なインフラ構築に向けた地域産業のイノベーション支援に取り組めます。
- 2) 地球環境の保全と創造
 - 環境保全や美しい環境の創造に取り組むお客さまの支援や、私たちの事業における環境負荷の低減に努めるとともに、気候変動対策の充実に取り組めます。
- 3) 多様な人材の活躍推進
 - 女性や若年層、シニア層などすべての職員が生き生きと活躍できる職場づくりに向けて、役職員の多様性を高め、その活躍に向けた育成や柔軟な働き方の実現に取り組めます。
- 4) パートナーシップの推進
 - 地方公共団体や法人、個人のお客さまなどとのパートナーシップにより、地域全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組めます。

環境リスク・社会リスクを低減するためのプロセス

群馬銀行では、対象となる投融資案件に関し、環境リスク・社会リスクを低減するために、適格プロジェクトのカテゴリ毎に必要な応じて、環境リスク・社会リスク関連情報を評価します。具体的には、審査部にて対象事業の事業開始検討段階における融資先での環境影響評価の実施の有無を確認し、必要環境関連法案等を遵守していることを確認します。環境影響評価の結果が重大と判断される場合には、投融資を見送ります。

4. 調達資金の管理

群馬銀行は、グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの発行によって調達した資金を、適格プロジェクトに係る新規および既存の投融資または新規の支出に充当予定です。また、経営管理室は、継続的に内部管理システムを用いて充当状況をモニタリングします。適格プロジェクトに充当するまでの間や未充当資金が発生した場合は、現金または現金同等物として管理する方針です。

5. レポーティング

資金充当状況レポーティング

群馬銀行は資金充当状況につき、グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの残高が存在する限り、以下の項目を年1回ホームページで開示予定です。

- ・ 適格プロジェクトのカテゴリ毎の充当額
- ・ 未充当金額
- ・ グリーン/ソーシャル/サステナビリティボンド残高

また、充当完了後も、充当状況に重大な変化があった場合には、その旨開示する予定です。

インパクトレポーティング

群馬銀行はグリーン/ソーシャル/サステナビリティボンドの残高が存在する限り、以下の指標を年1回ホームページで開示予定です。

| 適格プロジェクトカテゴリ | インパクトレポーティング指標 |
|-------------------|---|
| グリーンプロジェクト | |
| a. エネルギー効率 | CO ₂ 削減量 |
| b. クリーンな輸送 | CO ₂ 削減量 |
| c. グリーンビルディング | ・対象物件数 ・取得認証の種類 ・取得認証水準（認証の水準が存在するもの） |
| d. 再生可能エネルギー | ・CO ₂ 削減量合計値 (I) + (II) + (III) + (IV) + (V) + (VI) |
| 太陽光発電事業 | CO ₂ 削減量 (I) |
| バイオマス発電事業 | CO ₂ 削減量 (II) |
| 水力発電事業 | CO ₂ 削減量 (III) |
| 風力発電事業 | CO ₂ 削減量 (IV) |
| 地熱発電事業 | CO ₂ 削減量 (V) |
| その他 | CO ₂ 削減量 (VI) |

| 適格プロジェクトカテゴリー | インパクトレポーティング指標 |
|--------------------|---|
| ソーシャルプロジェクト | |
| a. 雇用の維持・創出 | <p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・投融資件数および投融資金額 <p><アウトカム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる企業数、概算の従業員数 <p><インパクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代へ「つなぐ」投融資を通じて、事業変革時の雇用の維持・創出 |
| b. 地域経済の再生・持続支援 | <p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる投融資プロジェクトの概要 ・投融資件数および投融資金額 <p><アウトカム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる企業数 <p><インパクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代へ「つなぐ」投融資を通じて、地域経済の再生・持続を目指して事業承継・相続の円滑化を促進 |
| c. 災害からの復興・復旧支援 | <p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる投融資プロジェクトの概要 ・投融資件数および投融資金額 <p><アウトカム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる企業数 <p><インパクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害からの可及的速やかな復興・復旧による豊かな生活の実現 ・災害リスク対策の強化によるレジリエンスな企業活動・社会の実現 |
| d. 医療、福祉サービス支援 | <p>【医療サービス支援】</p> <p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる投融資プロジェクトの概要 ・投融資件数および投融資金額 <p><アウトカム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・（病院建設の場合）病床数 <p><インパクト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療サービスの充実 ・健康・長寿の達成 <p>【福祉サービス支援】</p> <p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象となる投融資プロジェクトの概要 ・投融資件数および投融資金額 |

| | |
|--|--|
| | <p><アウトカム></p> <ul style="list-style-type: none">・（居住型福祉施設建設の場合）居室数 <p><インパクト></p> <ul style="list-style-type: none">・障がい者・高齢者へのサポートを通じた社会の安定化、共生社会の実現 |
|--|--|